<del>т</del> . г. и.		~ <del>=</del> ====		△1004左京 /:	2022年前	1107114 171 [	<b>一 ナ &gt; * / &gt;   ^   7</b>   7   7   7   7   7   7   7   7		
		等専門学校	開講年度	令和04年度 (	2U22年度)	授業科目	マネジメント演習		
科目基礎	ご 有	10010			TVDE ()	± / \2	210		
科目番号		0012			科目区分	専門 / 選			
授業形態		演習	<del>+</del>		単位の種別と単位		単位: 2		
開設学科創造工学専			<b>專攻</b>		対象学年	専1			
開設期	++	前期	<b>に</b> 2欠 Ψο		週時間数	2			
教科書/教	M	教員の自							
担当教員	<b></b>	石波 俊川	广,須田 孝徳,松尾 優	:士,二上 剛					
2. チーム 3. チーム 4. 報告会	の課題を適 内での自分 内及び地域 等で使用す	の役割を適t の企業等とi	解決策を立案でき 切にとらえ、その役 適切なコミュニケー 的確に作成し、発表	割を発揮し、課題) ションができる。		5.			
ルーブリ	ノック				T		T		
			理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レイ	ジルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1			企業等の課題を適切にとらえ、十 分で的確な作業や解決策を立案で きる。		企業等の課題を適切にとらえ、的 確な作業や解決策を立案できる。		唯は作業や解決束を立義できない。		
評価項目2			チーム内での自分の役割を適切に とらえ、十分で的確な役割を発揮 し、課題解決につなげられる。		チーム内での自分の役割を適切に とらえ、的確な役割を発揮し、課 題解決につなげられる。				
評価項目3			チーム内及び地で適切なコミュ! きる。	域の企業等と十分 ニケーションがで	チーム内及び地域の企業等と適切 なコミュニケーションができる。		チーム内及び地域の企業等と適切 なコミュニケーションができない 。		
評価項目4			報告会等で使用する資料等を的確 に作成し、発表、報告、討論が十 分で的確にできる。		報告会等で使用で に作成し、発表、 確にできる。				
学科の到	 則達目標項	目との関	 係						
I 人間 Ⅱ 創造 Ⅲ 国際	性								
 教育方法	· · ·								
概,経営単 めの立案だ 力を養うこ			業や団体が有する課題・問題等に対して、数名で構成されるチームを組み、企業等の経営者、技術者、研究者トを受けながら、共同・協働で解決に向けて取り組んでいく。この演習では、経営の基本(会社の仕組み,組織略,マーケティング,財務・会計)についても学びながら,チームワークで課題・問題を把握し、解決のたなどに取り組む。以上を通して課題・問題解決のプロセスを実践し、コミュニケーション能力や経営的知識能にとを目指す。						
企業が有解決の立 授業の進め方・方法 評価法に 30%、値			メント演習では、以下の研修により、実践的な能力を養うことを目的とする。 育する課題等に対して、企業等の研究者・技術者のサポートを受けながら、チームワークを発揮して課題の把握、 立案、システムの試作などに取り組むみ、課題解決のプロセスを実践する。 こついては、報告会におけるチームによる報告を複数の担当教員が100点法で評価し、これを平均した点数を 固々の学生が作成し提出したビジネスブランシートを複数の担当教員が100点法で評価し、これを平均した点数						
適切な情報 当該課題の 注意点 協力企業が 君を受けた			:して評価する。 報収集およびこれまでに修得した知識、経験等を駆使して、協力企業からのアドバイスを受けながら共同しての解決に積極的に取り組むこと。 が本人希望の通りにならないことがあるので注意すること。協力企業では貴重な時間と多大の労力をかけて諸 入れ,指導にあたって下さるので,常に感謝の気持ちを忘れないように,また安全に注意して研修すること。 ,1回目のガイダンスで教示する。						
		-		スで教示する。	に感謝の気持ちを	忘れないように,	また安全に注意して研修すること。		
授業の属	611生・ 復作	8上の区分		スで教示する。	に感謝の気持ちを対	忘れないように,	また安全に注意して研修すること。		
	<u> </u>		□ ICT 利用	スで教示する。	(に感謝の気持ちを) 図 遠隔授業対応	忘れないように,	また安全に注意して研修すること。 <ul><li>図 実務経験のある教員による授業</li></ul>		
				スで教示する。	に感謝の気持ちを? 	忘れないように,	また安全に注意して研修すること。 		
	ィブラーニ			スで教示する。	に感謝の気持ちを? 	忘れないように,	また安全に注意して研修すること。 		
☑ アクテ	ィブラーニ	ング		スで教示する。	に感謝の気持ちを 図 遠隔授業対応	忘れないように,	また安全に注意して研修すること。  図 実務経験のある教員による授業		
☑ アクテ	ィブラーニ	ング	□ ICT 利用	スで教示する。 (共同教育) ガイタ	□ 遠隔授業対応	<ul><li>志れないように、</li><li>週ごとの到達目・ ・技術者として 会貢献などの必</li></ul>	また安全に注意して研修すること。  図 実務経験のある教員による授業		
☑ アクテ	ィブラーニ	ング 週	□ ICT 利用  授業内容  マネジメント演習 ・協力企業からの  ・協力企業からの	スで教示する。 (共同教育) ガイタテーマの提示 (共同教育) (実験	に感謝の気持ちを 図 遠隔授業対応 ブンス	<ul> <li>週・会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	また安全に注意して研修すること。  ☑ 実務経験のある教員による授業  標		

		4週	マネジメント演習(共同教育)の実施見学) ・各チームごとでグループワークを実		同上		
		5週	マネジメント演習 (共同教育) の実施 見学) ・各チームごとでグループワークを実	(実験・討論・	同上		
		6週	マネジメント演習(共同教育)の実施 見学) ・各チームごとでグループワークを実		同上		
		7週	マネジメント演習(共同教育)の実施 見学) ・各チームごとでグループワークを実		同上		
		8週	マネジメント演習(共同教育)の実施見学)・中間発表会	(実験・討論・	同上		
		9週	マネジメント演習(共同教育)の実施 見学) ・各チームごとでグループワークを実		同上		
		10週	マネジメント演習(共同教育)の実施 見学) ・各チームごとでグループワークを実	施	同上		
		11週	マネジメント演習(共同教育)の実施 見学) ・各チームごとでグループワークを実	(実験・討論・ 施	同上		
	2ndQ	12週	マネジメント演習 (共同教育) の実施 見学) ・各チームごとでグループワークを実		同上		
		13週	マネジメント演習(共同教育)の実施 見学) ・各チームごとでグループワークを実		同上		
		14週	マネジメント演習(共同教育)報告書作成・発表会準 備 ・各チームごとでグループワークを実施		・マネジメント演習(共同教育)の成果を記述できる。		
		15週	マネジメント演習(共同教育)発表会		・マネジメント演習(共同教育)の成果を発表し、討論できる。		
(		16週					
評価割合	ì		+5 + 0	1,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		l o =1	
<b>₩</b> Δ=π/π=	10		報告会 ビジネスプラン		シート	合計	
総合評価割合 基礎的能力			30 70 0 0			0	
専門的能力			15	35		50	
分野横断的能力			15	35		50	
/J 21 (SCE)[11]	ריחווי		1+3	100		155	